



Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

JCEP

臨床研修評価 調査結果報告書

Pg20240044

地方独立行政法人 長野市民病院

長野市民病院臨床研修プログラム

令和7年1月24日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構

ご挨拶

日頃から、NPO 法人 卒後臨床研修評価機構の事業の運営に当たりましては、何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴院の臨床研修における調査結果を報告申し上げます。

当評価機構は、臨床研修プログラムを中心とした第三者による臨床研修評価を行い、医療の発展に寄与するとともに、臨床研修病院群の質の向上を図ることを目的としています。本調査から得られた結果が、今後の貴院における臨床研修の質の向上のために資することになりますれば幸甚です。

また、本評価機構は評価体系、および臨床研修評価を実施するうえでの諸問題等について研究し、このような研究活動を通して医療の質の向上と社会貢献を目指します。本調査結果、および評価項目等についてのご意見やご要望をいただくことができましたら誠にありがたく存じます。

今後とも、宜しくご支援とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴院の一層のご発展をお祈り申し上げます。

令和7年1月24日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構
理事長 福井 次矢
評価委員長 有賀 徹

臨床研修評価 調査結果報告書について

＞報告書の構成

1. 対象病院ならびにプログラム名
2. 臨床研修指定区分
3. 評価のまとめ※1
4. 大項目別評価※2
5. 評価結果一覧※3

※1 評価のまとめ

病院の臨床研修病院としての役割や性格を踏まえたうえで、主に臨床研修プログラムを中心とした所見を述べています。

大項目間の評価結果の相対的なバランスについて指摘すべきことがある場合は、その点についても記述してあります。

※2 大項目別評価

大項目別に、中項目の評価結果を「適切と評価された項目」と「検討を要する内容が見られた項目」、および「改善を要すると評価された項目」として示したものです。

※3 評価結果一覧

- ・各評価項目の評価結果を示したものです。
- ・中項目評価は3段階で行われ「適切」、「要検討」、「要改善」で表記しました。
- ・小項目評価は3段階で行われ「a」、「b」、「c」で表記しました。
- ・小項目において「b」、「c」と判定された項目については、所見が記載されます。

評価項目の構造

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 大項目「Pg.○」 | : 臨床研修評価の対象領域における枠組みを表す項目 |
| 中項目「Pg.○.○」 | : 直接評価の対象となる項目 |
| 小項目「Pg.○.○.○」 | : 各中項目を客観的かつ的確に判定するための指標項目 |

臨床研修評価 調査結果報告書

1. 対象病院ならびにプログラム名：長野市民病院
長野市民病院臨床研修プログラム

2. 臨床研修指定区分：基幹型臨床研修病院

上記について、臨床研修評価について standard:October 2023 を用いて行いましたので、その結果の概要を報告いたします。

3. 評価のまとめ

貴院は地域の中核病院として高度急性期医療を中心に予防医療や在宅支援など多彩な医療を提供しています。臨床研修に必要な症例数も豊富で、研修医は熱意と温かみのある指導医のもとで伸びのびと満足度の高い研修を行っています。そこで、さらに充実した研修とするために検討の余地もあります。まず指導医の積極的な確保が求められますし、指導者を事務部門を含めた医療スタッフに拡げることが望まれます。上級医、指導者を含めて 360 度評価を徹底し、フィードバックを行うことも必要です。次いで死亡症例検討会の開催や、インシデントレポート作成数増加、1週間以内の退院時サマリー作成率の向上、チーム医療への参加も必要です。これらの諸々について一層の質向上により、模範的な臨床研修病院になることが期待されます。今後の尽力と貴院の益々の発展を祈念いたします。

4. 大項目別評価

Pg.1 臨床研修病院としての役割と理念・基本方針

【適切と評価された項目】

Pg.1.1 臨床研修の理念・基本方針が確立されている

Pg.1.2 臨床研修病院としての役割が明確になっている

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.2 臨床研修病院としての研修体制の確立

【適切と評価された項目】

【検討を要する内容がみられた項目】

【改善を要すると評価された項目】

- Pg.2.1 研修管理委員会が確立している
Pg.2.2 臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある

Pg.3 臨床研修病院としての教育研修環境の整備

【適切と評価された項目】

- Pg.3.4 研修をサポートするための設備が整備されている

【検討を要する内容がみられた項目】

- Pg.3.1 臨床研修病院としての教育研修体制がある
Pg.3.2 患者の診療に関する情報を管理している
Pg.3.3 医療に関する安全管理体制の確保がなされている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.4 研修医の採用・修了と組織的な位置付け

【適切と評価された項目】

- Pg.4.2 研修医の募集および採用が計画的になされている
Pg.4.3 研修医の研修規程が明確である
Pg.4.4 研修医の処遇が確保されている
Pg.4.5 臨床研修の修了の手続きが確立している
Pg.4.6 研修記録が管理されている

【検討を要する内容がみられた項目】

【改善を要すると評価された項目】

- Pg.4.1 研修医の募集・採用の方法が確立している

Pg.5 研修プログラムの確立とその実践

【適切と評価された項目】

Pg.5.1 研修プログラムが策定されている

Pg.5.2 研修プログラムが研修プロセス(到達目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている

Pg.5.5 必要な診察法・検査・手技等を修得し、経験すべき症候、疾病・病態について鑑別診断、初期対応を行う能力が身につけられる内容が実践されている

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.5.3 「医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)、資質・能力」が身につけられる内容が実践されている

【改善を要すると評価された項目】

Pg.5.4 基本的診療業務、全研修期間を通じた必修の研修が実践されている

Pg.6 研修医の評価

【適切と評価された項目】

Pg.6.2 研修医ごとに評価結果に応じた対応がなされている

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.6.1 研修医を評価する仕組みが確立され、実施されている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.7 研修医の指導体制の確立

【適切と評価された項目】

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.7.1 指導体制・診療上の責任者が明確である

Pg.7.2 研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある

Pg.7.3 指導体制、指導医・上級医・指導者に対する評価が行われている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.8 修了後の進路

【適切と評価された項目】

Pg.8.1 自施設や他施設でその後の研修が継続できる体制を整えている

Pg.8.2 正規の職員として採用される仕組みがある

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.8.3 修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある

【改善を要すると評価された項目】

特になし

5. 評価結果一覧

Pg.1	臨床研修病院としての役割と理念・基本方針	
Pg.1.1	臨床研修の理念・基本方針が確立されている	適切
Pg.1.1.1	理念と基本方針がそれぞれ明文化されている	a
Pg.1.1.2	理念と基本方針が院内および臨床研修病院群間で周知されている	a
Pg.1.2	臨床研修病院としての役割が明確になっている	適切
Pg.1.2.1	臨床研修における役割・機能が院内に周知されている	a
Pg.1.2.2	臨床研修における役割が地域に周知されている	a
Pg.1.2.3	臨床研修病院のあり方について地域からの声に耳を傾けている	a

Pg.2	臨床研修病院としての研修体制の確立		
Pg.2.1	研修管理委員会が確立している	要改善	
Pg.2.1.1	研修管理委員会の構成が明確である	a	
Pg.2.1.2	研修管理委員会の規程が明確である	a	
Pg.2.1.3	研修管理委員会は定期的開催され、機能している	c	研修管理委員会が、年に2回しか開催されていない。また書面での開催で機能しているとは言えない
Pg.2.2	臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある	要改善	
Pg.2.2.1	計画的に実施するための事務担当者が確保され、機能している	a	
Pg.2.2.2	研修プログラムごとにプログラム責任者が確保され、機能している	a	
Pg.2.2.3	指導医が確保され、機能している	c	内科で指導医不在の診療科がある。研修協力施設での指導医取得状況が確認できていない

Pg.3	臨床研修病院としての教育研修環境の整備	
Pg.3.1	臨床研修病院としての教育研修体制がある	要検討
Pg.3.1.1	一般外来研修を行う外来部門での教育研修体制が整備されている	a
Pg.3.1.2	救急医療分野の研修ができる環境がある	a
Pg.3.1.3	経験すべき症候、疾病・病態の対象となる症例が確保されている	a
Pg.3.1.4	臨床病理検討会(CPC)が定期的開催されている	b CPC と CPC を補完する症例検討会の開催が少ない
Pg.3.2	患者の診療に関する情報を管理している	要検討
Pg.3.2.1	専任の診療情報管理者が配置され、診療情報管理部門が整備されている	a
Pg.3.2.2	診療に関する諸記録の管理がなされている	b 退院後1週間以内の退院時サマリーの作成率が100%でない
Pg.3.3	医療に関する安全管理体制の確保がなされている	要検討
Pg.3.3.1	安全管理者を配置している	a
Pg.3.3.2	安全管理部門がある	a
Pg.3.3.3	臨床研修における安全確保のための活動が行われている	b 研修医1人あたりの年間インシデントレポート作成数が4.2件である
Pg.3.3.4	研修医の医療事故発生時の対応体制が確立している	a
Pg.3.3.5	組織的に医療関連感染対策が行われている	a
Pg.3.3.6	患者相談窓口が常設されている	a
Pg.3.4	研修をサポートするための設備が整備されている	適切
Pg.3.4.1	図書・雑誌・インターネット利用環境が整備されている	a
Pg.3.4.2	研修医のために院内外での生活環境が整備されている	a
Pg.3.4.3	研修機器が整備され活用されている	a

Pg.4	研修医の採用・修了と組織的な位置付け	
Pg.4.1	研修医の募集・採用の方法が確立している	要改善
Pg.4.1.1	研修医の公募規程がある	a
Pg.4.1.2	研修プログラム等が公表されている	c
		様式10のホームページ上の公開はあるが、別紙1-5が公開されていない
Pg.4.1.3	研修医の採用試験が適正に行われている	a
Pg.4.1.4	採用辞令が発行されている	a
Pg.4.2	研修医の募集および採用が計画的になされている	適切
Pg.4.2.1	募集および採用について計画的になされている	a
Pg.4.2.2	募集および採用についての結果が評価されている	a
Pg.4.3	研修医の研修規程が明確である	適切
Pg.4.3.1	研修医の研修規程がある	a
Pg.4.3.2	研修医が患者を担当する場合の役割が明示されている	a
Pg.4.3.3	病棟、手術室、救急室、一般外来、当直等における研修実務に関する規程があり支援及び指導体制が明文化されている	a
Pg.4.4	研修医の処遇が確保されている	適切
Pg.4.4.1	研修医の位置付け・処遇に関する規程が明確になっている	a
Pg.4.4.2	定期的に健康管理が行われている	a
Pg.4.4.3	当直・時間外研修の際の処遇が確保されている	a
Pg.4.5	臨床研修の修了の手続きが確立している	適切
Pg.4.5.1	研修管理委員会に研修医ごとの評価・報告が行われている	a
Pg.4.5.2	必要事項の記載された臨床研修修了証が発行されている	a
Pg.4.5.3	修了が認められない場合の手順が確立している	a

Pg.4.6	研修記録が管理されている	適切
Pg.4.6.1	すべての研修修了者(中断者を含む)についての記録が保存されている	a
Pg.4.6.2	個々の研修医の研修内容が保存されている	a

Pg.5	研修プログラムの確立とその実践	
Pg.5.1	研修プログラムが策定されている	適切
Pg.5.1.1	理念・基本方針に沿った研修プログラムである	a
Pg.5.1.2	研修プログラムには研修プロセス(到達目標、方略、評価)などの必要事項が明示されている	a
Pg.5.1.3	研修プログラムが職員に周知されている	a
Pg.5.1.4	研修医が積極的に研修プログラムを選択し研修に取り組む体制が確保されている	a
Pg.5.2	研修プログラムが研修プロセス(到達目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている	適切
Pg.5.2.1	研修分野ごとに内容に適した研修期間(スケジュール)で目標を達成できるよう実施されている	a
Pg.5.2.2	研修プログラムの評価が行われている	a
Pg.5.3	「医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)、資質・能力」が身につけられる内容が実践されている	要検討
Pg.5.3.1	医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)、医学・医療における倫理性、医学知識と問題対応能力を身につけられる内容が実践されている	a
Pg.5.3.2	コミュニケーション能力を身につけ、チーム医療の実践ができる	b
		緩和ケアチーム、ICT ラウンド、精神科リエゾン等のチーム医療の参加が十分とはいえない。関連する分野を選択した時には経験できるが、選択しないと経験できない
Pg.5.3.3	医療の質と安全性確保のための知識と技術を身につける研修が実践されている	a
Pg.5.3.4	医療の社会的側面を理解し、それを踏まえた医療の提供を実践することができる	a
Pg.5.3.5	医学及び医療における科学的アプローチを理解し、生涯にわたって共に学ぶ姿勢を身につける研修の実践がなされている	a

Pg.5.4	基本的診療業務、全研修期間を通じた必修の研修が実践されている	要改善	
Pg.5.4.1	頻度の高い症候・病態、主な慢性疾患について、一般外来での研修が行われている	a	
Pg.5.4.2	病棟での研修において症例提示やカンファレンスに主体的に参加する研修が行われている	a	
Pg.5.4.3	診療計画（診療計画作成、クリニカルパス活用、入退院判断、QOLを含めた総合的管理計画への参画）を作成し、評価する研修が行われている	a	
Pg.5.4.4	初期救急対応を身につける研修が行われている	b	BLS 講習会が行われておらず、研修医が指導を経験する機会がない
Pg.5.4.5	地域医療を理解し、種々の施設や組織と連携することを学ぶ研修が行われている	a	
Pg.5.4.6	基本的な診療における分野・領域に関する全研修期間を通じた必須の研修が行われている	c	虐待疑い時の手順が標準化されていない。アドバンス・ケア・プランニングを研修する機会が確保されていない。CPCの開催が少なく、症例提示を経験できない研修医もいる
Pg.5.5	必要な診察法・検査・手技等を修得し、経験すべき症候、疾病・病態について鑑別診断、初期対応を行う能力が身につけられる内容が実践されている	適切	
Pg.5.5.1	経験すべき症候、疾病・病態について診療できる研修が行われている	a	
Pg.5.5.2	診療における医療面接（対患者：コミュニケーションスキル、聴取・記録、指示・指導）を身につけられる研修が行われている	a	
Pg.5.5.3	身体診察法（病態把握、全身観察、頭頸部、バイタルサインと精神状態、皮膚）を身につけられる研修が行われている	a	
Pg.5.5.4	インフォームド・コンセントのプロセスを身につけられる研修が行われている	a	
Pg.5.5.5	臨床手技・検査（適応判断、実施、結果解釈）を身につけられる研修が行われている	a	

医療記録(診療録・処方箋・指示箋、診断書、
Pg.5.5.6 死亡診断書、証明書、紹介状と返信)を記載で a
きる研修が行われている

Pg.6	研修医の評価		
Pg.6.1	研修医を評価する仕組みが確立され、実施されている	要検討	
Pg.6.1.1	評価者の構成が明確であり、必要な職種からの評価を実施する仕組みがある	b	事務部門が評価者として含まれていない
Pg.6.1.2	評価項目・基準の構成が明確である	a	
Pg.6.1.3	評価者、評価項目・基準が研修医に周知されている	a	
Pg.6.1.4	研修医の評価が実施されている	a	
Pg.6.2	研修医ごとに評価結果に応じた対応がなされている	適切	
Pg.6.2.1	評価結果が報告され、指導がなされている	a	
Pg.6.2.2	研修実績が基準に満たない場合の対応が明確である	a	

Pg.7	研修医の指導体制の確立	
Pg.7.1	指導体制・診療上の責任者が明確である	要検討
Pg.7.1.1	研修分野ごとに指導体制が明確である	b 指導医と上級医の区別の明示が十分でなく、研修医に周知されていない
Pg.7.1.2	指導医の役割が明示され、実践されている	a
Pg.7.1.3	指導医・上級医が指導を行う体制が確保されている	a
Pg.7.1.4	指導者が指導を行う体制が確保されている	b 事務部門や薬剤部門などに指導者がいない
Pg.7.2	研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある	要検討
Pg.7.2.1	研修医の診療行為について指導医から指導を受ける体制が明確である	a
Pg.7.2.2	研修医の記載した診療録をチェックし指導する仕組みがある	b 毎日行われるべき診療録の指導医に対する確認が必ずしも迅速に行われていない。指導医が指導した内容の記載がない
Pg.7.2.3	研修の記録について指導し、評価がなされる体制がある	a
Pg.7.3	指導体制、指導医・上級医・指導者に対する評価が行われている	要検討
Pg.7.3.1	評価方法が明確である	b 研修医及び指導者による指導医・上級医への評価が実施されていない
Pg.7.3.2	評価結果に対する検討が行われ、活用されている	b 指導者に対する評価が不十分で研修管理委員会を介してフィードバックされていない

Pg.8	修了後の進路	
Pg.8.1	自施設や他施設でその後の研修が継続できる体制を整えている	適切
Pg.8.1.1	専門研修の情報提供や紹介をする仕組みがある	a
Pg.8.2	正規の職員として採用される仕組みがある	適切
Pg.8.2.1	仕組みが明文化されている	a
Pg.8.2.2	採用した実績がある	a
Pg.8.3	修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある	要検討
Pg.8.3.1	仕組みが明文化されている	b
		3年ごとの医師の就職先の確認がされていない。仕組みが未だ明文化されていない